

御来校ありがとうございました！～喜々津っ子の心を見つめる教育週間



6月14日～18日の「喜々津っ子の心を見つめる」教育週間中は、多くの保護者にお越しいただきました。子どもたちの中には、おうちの人が見に来るのをワクワクしながら待っている子もいました。受付簿を合計すると、のべ545名の方が来校されていました。

特に、授業参観日には、道徳科の教材を通して、『命の大切さ』や『思いや

りの心』について考え、発表し合う子どもたちの姿を見ていただきました。教室が密にならないよう、ほとんどの方は廊下から見ていただくことになり、お子様を間近で見られず、残念に思われる方もいらっしゃったでしょうが、皆様の御協力のおかげで、無事、教育週間を終えることができました。ありがとうございました。



期間中 出前講座（授業）をしていただきました

教育週間中は、複数の団体の方々に講師としてお越しいただき、様々な授業をしていただきました。

○ サイバーセキュリティ講座（6/16）

長崎県警から「サイバーセキュリティボランティア事業」の委託を受けた県立諫早商業高等学校情報科の皆さんが、本校4年生に向けて、標記の講座を行ってくれました。内容は、LINE いじめに関すること、なりすましやフェイク情報に騙された事案、また、個人情報悪用されないための防衛策など、多岐にわたっていました。

生徒さんの中には本校の卒業生もいて、身近な先輩から、ネット上での正しいマナーやモラル、プライバシーを守ることの重要性を教わりました。



○ 平和講座（6/17）



今年も「ピースバトン・ナガサキ」の方々をお招きし、原爆投下前後の長崎のお話を中心に、平和の大切さについて、授業をしていただきました。映像資料をふんだんに使い、発達段階に応じて、わかりやすくお話をさせていただきました。低学年には、紙芝居や絵本の朗読を交えながら、戦争によっていろいろな命が失われ、とても悲しい思いをしたことを話していらっしゃいました。また、高学年には、原爆による被害を詳しく説明するとともに、原爆より威力のある核兵器が今でも世界の中で保

有されていること、尊い命を失い、深い傷を負った広島・長崎の人々が長年核兵器廃絶を訴えているにもかかわらず、開発が続いていることなどを語っておられました。

この学習が、8月9日の平和集会にも生かされることを願っています。

○ 租税教室（6/17）

税務署の租税教育推進事業の一環として、諫早大村法人会の御協力のもと、6年生を対象に、「租税教室」を開きました。「税とは何か」、「税がなぜ必要なのか」を児童自身に考えてもらえるように、身近な例を取り上げながら、分かりやすく説明していただきました。

命の尊厳とは一見関係ないように思えますが、市民の生命や健康を守るためのインフラ整備や社会保障には、多額の税金が使われています。特にコロナ禍にある今、子どもたちにとっては大切な学習だったと思います。



縦割り活動で異学年交流



昨年度はできませんでしたが、今年度は、1年生から6年生までを一つの班に編制して活動を行う、「縦割り班活動」を復活させています。6月14日は、その顔合わせとオリエンテーションを行い、班のみんなで4年生が平和公園で捧げるための千羽鶴作りを行いました。高学年が低学年に鶴の折り方を教えながら、和やかに作っていました。

そして、6月22日は、縦割り班ごとに「なかよし集会」をしました。内容は、班別に校内の壁や窓に張ってある問題（全部で55問）を探して歩き、それを解いていく活動でした。なぞなぞのような問題もあって、高学年よりも先に中学年が答えを思いつき、高学年も「おお、そうだね!」と感心していました。いろんな学年が活躍し、お互いのことを知り合うきっかけとなりました。

これからも、このような異学年交流を通して、年齢の垣根を超えた仲間意識や互いに思い合う心を高めたいと思います。



昨年度と変わったこと（その5）・・・働き方改革

2019年から働き方改革関連法案が順次施行され、新型コロナウイルスの影響もあって、各業種でこれまでの働き方が見直されています。小学校も例外ではなく、県全体で業務改善に取り組んでいるところです。条例では、1か月の超過勤務は45時間以内という方針が出されており、本校の勤務時間は8:00~16:30なので、原則として水曜日は定時退庁、他の曜日でも午後6時までに退庁するように言っています。したがって、午後5時以降に学校へ電話される場合は、対応できないことがありますので、御了承ください。しかし、担任の仕事は簡単に減らすことはできず、45分の休憩時間も連絡帳の返事やノート等のまる付け、個別指導、子どもとの会話や外遊びなどに使っているのが現状です。そして、帰宅時間までに終わらせられなかった仕事は、持ち帰っています。保護者の皆様には、このような実情を踏まえ、御理解と御協力をよろしくお願い致します。

大学生が学習支援

長崎大学教育学部では、学生が講義・演習で得た知識技能を実社会で活かすために、「蓄積型体験学習」が行われています。

その一環として、本校にも学習支援実習の協力要請があり、6月11日から、毎週金曜日に、小学校教員を目指す2年生の学生さん2名が体験をしています。

この蓄積型体験学習の中には、小・中学校の学習支援だけでなく、4年生までに、宿泊学習などの野外体験支援実習や離島での教育実習もあるそうです。本校では、3年生を中心に、1年生や6年生の授業に入っていただき、本校教員の指導の仕方を見ながら、つまずきの見られる子どもたちなどへの学習支援をしてもらっています。

